

せんかたより 専科便り

令和2年11月20日
渋谷区立加計塚小学校
校長 近藤新太郎
音楽・図工・家庭・算数少人数担当

算数教室

どの学年も下の教科書に入り、後半の学習を頑張っています。

<3年生>「円と球」の学習で初めてコンパスを使いました。練習を重ねていくと、子供たちはどんどん上手に円がかけられるようになりました。円をかくこと以外にも、長さを写したり、区切ったりしながらコンパスを使いこなしていきました。

<4年生>「式と計算」の学習で四則混合計算に取り組みました。乗除を先に計算することを理解し、計算順序を間違えないことが大切です。正しく答えが出せるまで根気強く練習を行いました。

<5年生>「分数のたし算とひき算」の計算を行いました。学習はつながっていて、前に学習した最小公倍数や最大公約数を頭に浮かべながら通分や約分を行い、計算ができるようになりました。

<6年生>「円の面積」の学習では、円を分割して長方形を作り、公式を導き出しました。公式を使うようになると、正方形と円を組み合わせた形の複雑な面積まで工夫して求められるようになりました。



音楽室から

後期に入り、早いもので約1ヶ月が過ぎました。

1年生は、鍵盤ハーモニカで演奏する楽しさを味わい、たくさんの曲を演奏することができるようになりました。2年生は、2拍子や3拍子の拍の流れによって歌ったり、その曲に合わせて小物楽器や鍵盤ハーモニカでリズム伴奏をつけて歌と楽器のパートに分かれて演奏したりしています。3年生は、リコーダーで新しい音の指づかいを覚えてきて、楽しさを味わっています。歌に合わせてきれいなリコーダーの音色が出せるようになってきました。4年生は、腹式呼吸について学んだり、新しい打楽器のリズム伴奏を行ったりしています。5年生は、和音の響きについて演奏や歌唱を通して味わっています。6年生は、3つのパートに分かれて和音の響きを感じたり、合奏したりしています。子供たちは歌唱や器楽、音楽づくり、鑑賞とそれぞれの分野で頑張っています。



家庭科室から

三澤 裕子



10月も引き続き、ミシンを使った学習をしました。

5年生 「ランチョンマットづくり」では、フェルトで模様をつけたり、刺繍糸で形を縫ったりした後に、ミシンでまわりを縫いました。一人一人の工夫が活かされて、とても個性的なランチョンマットができました。

6年生 「クッションづくり」では表の模様をつけてからまわりを縫い、綿を詰めて、最後に綿の入れ口を手縫いで閉じて完成しました。楽しいクッションがたくさんできました。

※これらの作品は2月の「EXPO2020」で展示する予定です。

図工室から 6年

12才の力で

9月から取り組んできた「12才の力で～たなをつくろう～」はほとんどの子が色をぬり、ニスをぬって完成させました。基本の形から発展して自分なりにアレンジした棚に色が加わると、さらに個性が出てきました。何を置こうかと考えて、工夫した様子がよくわかる作品です。

早く終わった子供たちはスチレンボードとアクリル絵の具で色を重ねる作品に取り組んでいます。

※これらの作品は2月の「EXPO」で展示する予定です。

図工室から

11月11日には4年1組で「わ!からはじまる…」という研究授業をしました。様々な大きさの紙バンドの輪から発想を広げて、組み合わせ方やつなぎ方を工夫する活動です。輪の形を利用して動物などの具体的な形をつくったり、組み合わせ方を考えて抽象的な作品をつくったりしました。冠のように身に付けて楽しむ児童もいました。当日中に持って帰りたいと言うほど全力で活動を楽しむことができました。他校の参観者・講師からも子どもの発想やがんばりに対するの多くのお褒めの言葉をいただきました。

小西 菜津子

